

ALP・LDの測定方法が変わります

日本臨床化学会より JSCC 法から IFCC 法への変更を推奨する基本方針が発表されました。

これにより日本国内の ALP、LD の測定方法が世界的に普及している測定方法に変わります。

現行測定法：JSCC 法（JSCC：日本臨床化学会）

新測定法：IFCC 法（IFCC：国際臨床化学連合）

【IFCC 法を用いた測定値の取り扱いについて】

● ALP

- ・測定値が現行の1/3程度の数値になります。
- ・血液型B,O型では小腸型ALPを含む検体で低値
妊婦では胎盤型ALPが増加することにより高値に測定されます。

● LD

- ・測定値、基準値ともに現行法と変わりません。
- ・LD5優位検体(肝疾患)で現行法に対して低値傾向になります。

